



2007年度 大田支部総会報告

大田支部長●京浜容器機代表取締役 内海節子

2006年度、支部活動にご協力、ご支援頂いた支部会員の皆様にご心より御礼申し上げます。4月21日(土)、第26回大田支部総会が皆様のご協力の下、無事終了いたしました。

総会から早や2ヶ月余り、大きな組織改革が承認され、7部会6委員会が部長、委員長、それぞれの担当副支部長を中心に、本年度の「スローガン」である「磨こう感性、高めようクオリティ」を基に動き出しました。一生懸命が、かえって支部の枝葉の活動に振り回され、ふと立ち止まったら何のために同友会やっているのだろうか?と、エブリデイ同友会が嫌いになってしまった話を耳にしたとき、なんとかせねば...と、支部長2期目にあたる本年度は、支部運営の見直しに全力で取り組みます。

支部に新しい風が起り、時代の流れを意識した支部の活動を皆で協力し、話し合いながら楽しく作り上げること、また、活動に参加することにより、お互い

に研鑽しあい、自らも高め、豊かな人間性をもった良い経営者として、よい会社をつくり、より良い経営環境をつくること、そして何よりも、同友会が大好きになつてもらいたい。今、そんな新たな気持ちで支部運営に臨んでいます。

本年度も引き続き、皆様の絶大なご支援、ご協力をお願いいたします。末筆ながら、第2回「あなたのお仕事教えて」

2007年度 活動方針

『磨こう感性、高めようクオリティ』 常にチャレンジ大田支部

日本経済が、いざなぎ景気を越え、一気に景気回復に向かっているといわれていますが、我々中小企業を取り巻く状況は様々な面でまだまだ実感できず、厳しい経営環境にあるといえます。特に、経済のグローバル化の進展と人口減少の問題は日本の将来に大きな影響を与えています。また、大手企業の採用が大幅に増加し、求人難、人材不足がより深刻な問題となり、原材料価格の高騰はあらゆる業種に及び将来の企業活動に暗い影を投げかけています。そして、そのような状



「エステイバル」の準備に奔走した、河津リーダーをはじめ、総会企画運営プロジェクトメンバーに、お疲れ様。ありがとうございました。そして、今回の組織改革を行うにあたり、並々ならぬご尽力を賜りました御殿場支部の皆様、ご協力頂いたすべての皆様に感謝を申し上げます。

以下、2007年度活動方針(抜粋)を以って、所信表明と致します。

況下で、私たちは未来に向かってどのようなビジネスモデルを構築していくのか、大きな課題となっています。

今日を取り巻く経営環境のなかで、同友会の活動は、基本的な理念である3つの目的「よい会社を作ろう、すぐれた経営者をめざそう、よりよい経営環境をつくろう」の下に多くの会員企業が高い志を持ち、学びを生かし、自己研鑽しています。

本年度50周年を迎えた東京同友会では、総会に於いて「第6次中期ビジョン」が

発表されました。熱き企業家精神で時代を切り拓こう、量の時代から質の時代へ、企業と経営者の「質」を高めるために、同友会がどのように応えていくかを、より具体的なアクションプランで明示しました。(小冊子「東京同友会第6次中期ビジョン」参照)

現在、同友会が提唱する「中小企業憲章」の制定に向けての運動が各支部で、取り上げられ、「中小企業立国日本」の実現に歩みを進めています。

「中小企業立国日本」の実現における、中小企業の地位向上を目指すためには、支部会員が同友会の本質的な意義である3つの目的を理解し、自社における指針の確立を通じて、人材を育て、様々な経営課題を解決することが重要且つ不可欠であります。

真の経営者像とは、日々の経営努力を積み重ねることによって中小企業の存在価値を示し、社会に貢献し、地域産業振興を担っていくことが重要です。

2007年度の大田支部スローガンが一連の討議を経て、「磨こう感性、高めようクオリティ」常にチャレンジ大田支部に決まりました。

東京同友会第6次中期ビジョンを踏まえ、安全性、品格、モラル、向上性、あらゆる「質」クオリティ」の向上が、今中小企業経営者に求められる第一の条件であります。そのために常に感性を磨き、急速な時代の変化の中にあっても、ゆるぎない永続的な企業を目指すことが経営者の責任でもあります。

本年度は、このスローガンに沿って大田支部運営を行うにあたり、全会員の知恵と力、そして、アクションが最大要素であり、前年度に引き続き皆様の力強い応援と協力をお願いする次第です。

このスローガンを踏まえ、2007年度大田支部方針として、以下5点を提示します。

1. 「組織改革」で 時代に即した活動をします。

2007年度、組織改革のスタートをきる大田支部は、組織構成の見直しで、皆が行動する組織づくりをします。そして、自らが積極的に自主的に活動に参加する仕掛けを作る努力をします。

①「大田ルール」導入で各組織の位置付け・活動目的を明確にします。

②時代のニーズに即した存在感のある部会・委員会を設置し、全会員加入により、活動率を上げ、行動する大田支部を目指します。

2 「例会参加率」をあげ、 50%参加例会を実現する。

「例会」は、全会員の学びの場であると同様に、グループ討論、懇親会を通して会員相互の交流の場として、あらゆるニーズに応えるため、様々な角度から創り上げていくことが原則にあります。

①「最優秀例会企画賞」を創設し、企画から準備（ブレ例会の実施）、運営、検証を徹底し、よりよい例会作りを実践します。

②例会を情報提供の場とし、各委員会・部会の報告セレモニーを実施します。

3 組織委員会(旧会勢拡大委員会)の 設置で新会員の定着率をあげる。

大田支部300名体制を念頭に置き、新会員の定着の為、フォロー体制を強化し、経営理念の成文化、経営指針の確立など、同友会で活動することの意義を明確にします。また、同期入会の方々の大田支部のリーダーが育っていくことが、会員増強につながると考えます。

①定期的な新会員のオリエンテーションを実施します。

②全6回「経営基礎研究会」を実施します。 4 「人材育成部会」の発足で 人材の確保と人材を育てる。

昨年度の「幹事会1分間スピーチ」において、課題のトップが、人材の確保と

定着であることから、時代のニーズに見合った「人材育成部会」を発足し、よりよい会社作りをします。

5 「他団体・産学官との連携」で 外部発信する。

本年度は、第16回経営研究集会(16研)が、4支部(大田・品川・世田谷・目黒)で構成される南部協議会の運営で立正大学において開催されます。16研は、大田支部が現在まで培ってきた産学交流の集大成であると共に、他団体、産学官、地域社会に発信するチャンスでもあります。全面的なバックアップで、成功に導きたいと考えています。

6月例会報告

地元大田で大いに語る!! 地域と共に永続する企業をめざして

講演者 ●株式会社湯建工務店代表取締役 湯本良一
報告者 ●丸良興業有限公司 虻川良太郎

平成19年度6月例会は、東京中小企業家同友会代表理事である湯本良一氏の講演でした。「地元大田で大いに語る!! 地域と共に永続する企業をめざして」というテーマは、自分の地元を盛り上げて生きていきたいという思いと重なり、聴きごたえのある話でした。

代表理事の「半径2キロを商圏とする建設会社」、「地域に根づく企業作り」の話はとも興味のある内容でした。人を引っ張って行く力というか発想力というのでしょうか、一緒に仕事をやってみようかなと感じさせる瞬間でした。さらに足元がしっかりとしていなければ何処に行っても活躍できない、確かな信頼を手にとつとつ築き上げていくという代表理事のスタンスが感じられました。

これらを実現するために会員の役割は大きく、十分な議論と的確な判断、そして、具体的に行動することが必要です。運営面では、役員会を設置することにより、意思決定を迅速にし、情報の共有化と各委員会の相互連携により、より活性化し充実した体制作りを目指します。

また、様々な意見交換をする上で、質の良い議論の場を作る為に、リーダーのモチベーションを上げ、会員に積極的な参加を呼びかけ、工夫することが重要であると心得、支部全会員のための支部活動を展開します。

また、「良い会社とは…」という話が出ましたが、100年続く会社は少ないそうです。どこかで足を踏み間違えてしまうのでしょうか、社員と一緒に歩んできたはずの会社が、経営指針を持たずに行動し、お客様に心から喜んでもらえる根本を見失ってしまった結果、お金儲けだけに進み、無くなってしまったということでした。

継続させることが企業規模より大切。社会のニーズ、変化に対応できる社員のモラル、モチベーションをどのように高めていければいいのか、会社の組織作りのあり方、本当のお金の大切さなど、自分にとって多くの学ばべきことがあり、実に有意義な時間でした。

例会担当の方々、ありがとうございました。今後このような会を楽しみにしています。

第一回・第二回 経営基礎研究会に 参加して

報告者 ●(株)共栄サービス 塩田康

私が同友会に参加させて頂いたのは、弊社、青木のすすめを受けての四月十七日の第一回経営基礎研究会からとなります。はじめは「経営者の勉強会」ということで「私のような若輩も」が参加しても大丈夫だろうか?、「講義の内容を理解できるだろうか?」などの不安が漠然とありました。と、いうのも前職は四年間NTT系列の会社でIT系エンジニアとして勤めており、仕事のイロハが分りはじめたばかりで、経営方針の策定や経営戦略の決定とはほど遠い位置で仕事をしていた為です。

内海支部長のオリエンテーション、第一回・二回の根本先生の経営基礎研究会を受講させて頂き、その不安は多少解消しました。内海支部長の経営者としての奮闘ぶり、根本先生の経営未経験者にも分かりやすい、経営理念・ビジョン・経営戦略のあり方の説明、先輩経営者の方々の対話のおかげと感謝しております。懇親会では私と同年の経営者の方とも知り合うことができ、驚きとともに励みにもなりました。

私は小中学校でサッカー部に所属していましたが、経営理念・ビジョン・経営戦略をサッカーに当てはめると、「どういったチームにしたいか」、「そのためにはどういった選手・フォーメーションにする必要があるか」、「相手チームにどうやって勝つか」になると思います。理念・ビジョン・戦略が明確でないチームは良い戦績を残すことは難しく、シーズン後の結果やファンの声援に明確に反映されず、だからこそ、選手や監督、スタッフ一丸となってそれらを真剣に検討・実践するのだと思います。私も今後、経営理念やビジョン、戦略を他の経営者、社員と真剣に検討・実践していきます。

若輩ものですが、私も経営者として、実地や同友会で学んだこと、これから学ぶことを活かして社員と共に共栄サービスを地域や社会に貢献できる企業にしていけるよう頑張ります。

組織変更

2007年度、大田支部は以下のように運営体系を見直し、あらたな組織体制を確立しました。

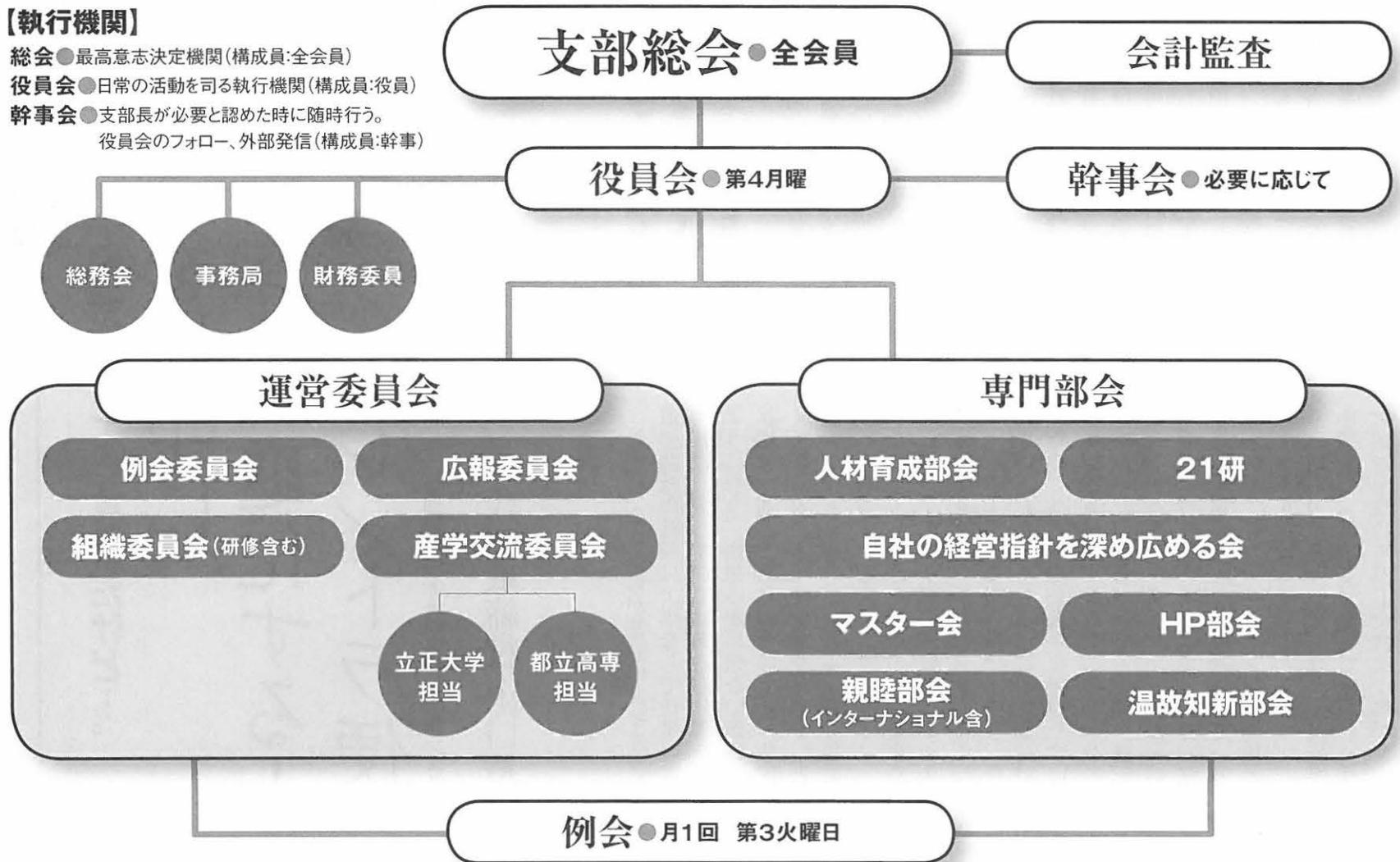
【執行機関】

総会 ● 最高意志決定機関(構成員:全会員)

役員会 ● 日常の活動を司る執行機関(構成員:役員)

幹事会 ● 支部長が必要と認めた時に随時行う。

役員会のフォロー、外部発信(構成員:幹事)



部会紹介

組織変更により委員会・研究会が、「部会」として生まれ変わりました。

「人材育成委員会」改め「人材育成部会」と、「着の会」改め「温故知新部会」の部会長お二人に、今回は気持ち新たに部会紹介をしていただきます。

人材育成部会

(株)メイショウエステート 代表取締役 石川英嗣

「人材育成部会の目的は採用力と社員力を高める事です」

大田支部会員の皆様いつもお世話様です。

さて、この度大田支部新体制の中、旧人材開発委員会を改め、人材育成部会として会員の皆様にとって、会社の経営にとって最も重要な「人」をテーマに部会「勉強会」をさせていただき運びとなりました。

新年度に入り多少同友会活動に小休止をしたかったのが本音でございますが、新体制の言いだしっぺとしての、責任を取りなんとか皆様に本当に必要な部会「勉強会」にして行きたいと思っております。

人材の採用、教育、モチベーション、コミュニ

ケーション、評価、等々「人」にまつわる件は会社、経営者として成長していく中で切っては切れない課題であり、又、経営者として最大の悩みが集中する反面、本当のやりがいを見出せる部分ではないかと思われまます。

自分自身での最大の経営課題も「人」の問題に終始していたような気がします。人材育成部会の活動により会員の皆様に必要な部会にする事が、自分自身と社員が成長することと信じて、1年間まだ通ったことが無い道を、皆様といっしょに模索しながら、元気よく前向きにチャレンジして行きたいと思っております。

【活動方針】

第1回目の皆様の課題より下記、2点にしぼり活動していきます。

①採用について リクルートに代表される、求人誌や求人サイトに掲載する待ちの採用から、社長自らが行動し会社の採用力を上げていく、ベンチャー系の採用企業情報などを会員間で共有し、実際に講演していただき、自社で取組んだ場合の効果やコストなどについて議論する。

②社員教育について 手探りの社員教育の中で、一般社員を幹部社員にする意識改革について特化していく。

温故知新部会

株式会社ユニオンアイデア 代表取締役 高田久志

この度「着の会」の精神を継いで若手経営者のための勉強会「温故知新」を始めることになりました。温故知新とは「古きをたずね新しきを知る」読んで字の如し、大田支部にいらっしゃる多くの優秀な先輩経営者(古き)に、まだまだこれからの若手経営者もどきが訊き、そこから何かを得る(あたらしい自分ない知識を得る)学びの会です。若手が中心で運営してまいります。先ずは部会員が自社の経営に関する発表をし、先輩にご意

見を戴きながら経営のヒントを得るという形を取ってスタートします。他にも色々なことをやりたいという意見も多く活動をしながら活発に意見交換をしてこれからの自分たちの会を作り上げていこうと考えています。やる気と意欲のある同友会の若手が集まって集中力も高まり、だんだん会の質も上がってきています。皆で活動し皆で意見を出し合って、皆のための皆で作る会にしていきたいと思っています。こんな私たちと学び、少して

も良い経営者を一緒に目指していきませんか。会は若手を中心にしてはいますが、先輩の方々も大歓迎です。アドバイスをいただける方、会で何かを得ようと思う方、など老若男女を問わず経営者としての情熱と向上心をもっている方ならどなたでも結構です。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしています。未熟者ですが私が部会長を勤めさせていただきますので宜しくお願いします。

5月例会報告

我がままだけど…小心者だけど…乱暴者だけど…。

脱下請けを旗印に

「耳を澄ませて」進化する！

新サービス？「レントラ便」



講演者 ● 株式会社ハーツ 代表取締役 山口裕詮

(運転手付トラックレンタルシステム)

期待をはるかに上回る いい例会でした

報告者 ● 有限会社まどり君の賃貸情報
安藤俊也

今回のレジメを見た時、正直何のこと？レントラ便？とても興味を引くタイトルでした。弊社もお付き合いさせて頂いている山口社長でしたので参加させて頂きました。

内容は…、期待をはるかに上回り、過去の失敗、朝から晩まで働き続けた下請け時代、苦勞など、今の山口社長からは到底想像もつかない波乱万丈があり、感動しました。

若くして起業された山口社長。転機は成田にある大手取引会社の下請けを受けた時のこと。会社の設備は整っておらず、通常ではどうなのかな？と思うような状況なのに、大手取引会社さんからの依頼で何も考えず、即答した強気な山口社長。しかし、順調に行く筈の仕事が突然、大手取引会社の都合で取引中止。売上げの8割がなくなってしまう。会社にとっては致命的！大打撃を受けた中、当時、多額の借金を背負い、自殺まで考えられたそうです。

しかし、そこからが普通の人と違うところ。取引会社の社長にアポなしで仕事の再開を訴え続け、少しずつではあるが仕事を再開するようになり、出来るか出来ないかわからない状態で、通常であれば今の会社の状況など考えてから答えを出すのが、やりませと即答。経営者にとって、とても大事で必要な「決断力」。素晴らしいと思いました。

この頃くらいから仕事の中心を東京へシフトし、ホームページの作成・ロゴの入ったダンボールを作り、新たにスタートを切った。ホームページからの反響はあるが、仕事が取れない。どうしても東京は同業他社が多すぎるため、ユーザーが大手を選びやすい。ここで山口社長は全てを捨て、独自の自社ブランドを作った。それがレントラ便！運転手付きのレンタルトラック。ユーザーが引越しの際に手軽に借りられるととても好評。法人さんも運転手付きとのことで利用している。そのほかにも、エコ・ユーザー、定期便と3つの柱で業績を伸ばしている。

今回のお話を聞いて、自分の会社を「思い」を持って「信じて」やっていくということの大切さを改めて感じた次第です。

目標を共有したい！ と言う思いで、

例会を立ち上げました

報告者 ● ベネフィット・パートナーズ
代表取締役 奥野恵正

昨年4月に大森ブロック長を命じられ、いきなり翌月大森ブロックで例会を担当し、それを終えブロック長として何をしていけば良いか、改めて考え、迷っていた時でした。

「そうだ、2007年5月の例会を立候補して、一つの目標を大森ブロック会で共有しよう」と思ったのです。そこで実際、昨年7月～2月まで企画を練り、3月、4月とプレ例会を3回行いました。言葉にすれば簡単に感じますが、想像をはるかに超えるくらい例会作りは深く、どれだけ準備期間を費やしても足りないくらい、「例会の重み」を感じました。最終的に、大森ブロック会に参加していただいた方が一丸となって成し遂げる事が出来たと感謝しています。

投資・行動・時流 大変勉強になりました

報告者 ● 株式会社

リサイクル・ネットワーク
代表取締役 大久保茂忠

今回の例会は、日頃大変お世話になっており、私を同友会にご紹介頂きました株式会社ハーツの山口社長のお話と言うことで、弊社の社員と共に出席させて頂きました。

聴講していて、投資・行動・時流の三点で大変勉強になりました。大手国際貨物会社さんの話としては、当時の組織では先方の要求に対応出来る状況ではないのに「出来ませ」と答え、資金を調達して車輛等を増車し要求された体制を期日までに構築し、ビジネスチャンスをものにされております。また、その大手国際貨物会社さんから全面解約を言い渡された時、上場企業であるその会社の社長様に再三に渡る契約継続の直交渉。もし、私が同じ立場に立たされたら同じような行動がとれるか正直疑問です。また、「ITを駆使した受注の時代」と感じるとすぐに、今までのやり方を変えてホームページの作成にどんな投資をしてゆく。私事ですが、一年前の4月、親会社より分社化して「経営」の何たるかも知らず、ただひたすら経費を削減して利益を出す事を第一に一年間やってきた私とは行動がまったく違いました。

山口社長の会社の業績が良いのは、上記の経営者の資質による所が大きいと思います。同友会の諸先輩方のアドバイス（「ブランド力の構築」、「掘り下げによる新しいビジネスの創造」等）を素直に受け入れる事が出来るのも要因と思えました。

今までは山口社長を一つの目標としておりましたが、本日の講義を聴講してこれからはウサギの発想と分かりました。これからはカメでやっていきます。山口社長、本日もいっぱい頂きました。有難うございます。そして、お疲れ様でした。



第3回

あなたのお仕事教えてください!!

株式会社共栄物流サービス

報告者 ● 三橋 継男

[住所] 東京都品川区勝島1-4-11

宝組勝島倉庫B棟B206

[TEL] 03-3298-0405 [FAX] 03-3298-0402

[URL] http://www.kyoei-buturyu.com

業務内容 ● インターネット通販等商品の保管・発送代行。

個人から中小企業様を中心に化粧品、健康食品、雑貨などの商品をお預かりし、クライアント様に代わって梱包・発送を行っています。

企業理念 ● 私たち共栄物流サービスは、共に喜びを分かち合い、存在が期待される企業を目指します。

①「天命に生きる」②「人を作る」③「共に栄える」

うちの会社のここがすごい ● 昭和63年(1988年)創立。

19期目を迎え、定期取引顧客は延べ100社を超えました

(業界トップのクライアント様も含まれます)。

なんでもひとつ ● 物流センター拠点は関東エリアに現在8ヶ所。

御見積の段階で利便性、賃料、保管環境を考慮し、

ご希望に沿ったエリアでご提案。梱包・保管発送を外部委託として

ご検討されている企業様、物流パートナーをお探しの

同業他社様、是非一度お問合せください!!

お問合せ先: ☐ kaiatsu@kyoei-buturyu.com

ラッピングの達人



バーコード検品

株式会社リントス

報告者 ● 代表取締役社長 小泉 泰智

[住所] 大田区西糀谷3-29-5

[TEL] 03-5705-1701 [FAX] 03-5705-1716

[URL] http://www.rintasusu.net

業務内容 ● 印刷・デザイン制作を核として、

『商店街 街路灯広告』・『地域の広告チラシ発行』・

『無料広告ポータルサイト』等を運営し、事業展開を行っています。

経営理念 ● 一、常にモチベーションとスキルの向上に努め、

日々挑戦し続けること。

一、互いに助け合い・協力し合い、

お客様が満足して下さる仕事をする事。

一、日々感謝の気持ちを持って、地域・社会に貢献し、

又、親孝行をすること。

一、人の心、一念、信念をもてば偉大なことを成し遂げる。

うちの会社のここがすごい ● お客様が満足して頂ける

商品のご提案。地域貢献型街路灯広告『リコラネット』、

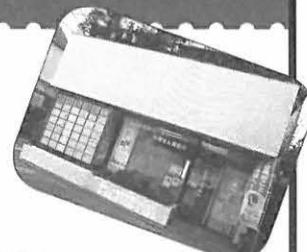
誰でも手軽に新聞折込広告『おかなび』等、

社会、お客様に満足を与え続けるベンチャー企業です。

なんでもひとつ ● 昨今、人道の不認識や物価の高騰や

地球温暖化などを良く耳にします。幸せとは、生活とは、未来とは、

などをもう一度考える事が大切ではないでしょうか?



〈第3回〉大田支部6月役員会議事録

【出席者】17名 ● 内海、中西、河津、中村、井上、鈴木善、島村、荒井、庄司、蛇川、内田、石川、庄子、高田、小林、伊藤、齋藤

【入退会報告】入会2名/退会4名

現会員数262名

〈入会者〉YAMA社労士事務所・山室裕伸氏(紹介者:島村氏)、(株)ユアーズシステム開発・長谷川勇仁氏(紹介者:事務局)

〈退会者〉インテリジェンスインターリンク株式会社・中原攻氏(紹介者:事務局)、東横コーポレーション(株)・中川浩夫氏(紹介者:森川氏)、(株)ポートプロモーション・渡辺勝見氏(紹介者:石井氏)、国際魅力学会・品川路子氏(紹介者:武藤氏)

【当面の支部活動】

【1】運営委員会

● 例会委員会(6月14日開催)

今後の担当

6月19日・役員会

7月17日・融資助成プロジェクト

8月21日・親睦

9月18日・エアポート

10月28日・16研

11月20日・例会

・例会企画マニュアルを作成し、スムーズに運営ができるように図る。

※今後の例会委員会…7月12日、8月9日、9月13日、10月11日、11月8日、12月13日、1月17日、2月14日、3月13日(例会ご担当の方はご出席と企画書提出をお願いします)

● 広報委員会(6月5日開催)

第74号「大田の友友」について話し合う。アモイ旅

行の記事を入れて欲しいと意見がありました。名簿編纂に着手した。

● 組織委員会

経営基礎研究会は、毎回15名程度の参加で行っています。

● 産学委員会…立正・高専(6月18日)

6月8日インターンシップ説明会→12社参加、学生約200名。受講生海外派遣について、支部より10万円支出～支部への報告などの方法を考える。中小企業家経営塾講師の案を話し合った。「マッチングフェア」「技術向上支援講座」の周知について確認。

● 総務委員会

①女性経営者全国交流会(6月7、8日)

総務委員会として参加してきました。

②第16回東京経営研究集会(10月28日)

報告事項およびあとの討議事項で以下のことがきまりました。

・協賛金制度

従来の参加費制度ではなく、協賛金(10万円以上)で行う。広く学生や地域に参加を広げるために、入場料をなくした。大田支部として協力していることと話をした。

・分科会について

大田の「例会委員会」と同じような趣旨で「分科会委員会」として関わっていく。スタッフの足りない部門には、要請があれば答えていく。役員会のあとで、ほとんどの役員より協賛金をいただいた。

【2】専門部会

● 人材育成部会…7月は21研と合同で行う。

● 21研部会…2ヶ月に1回のペースで行う。研究会がない月は、予習復習を行う。

● 経営指針部会…夏は、いつも箱根の一泊だったが、今年は北海道へ行く。アイワードさん朝礼見学、定点観測など。※7/24、8月休み、9/2~5、9/25、10/30~

● ホームページ部会(6/20) …会員名簿の更新を4半期に1度行う。やりたいことをリサーチしていく。

● 親睦…6/3、ゴルフを行った。

● 若手の会…次回7/4。「楽しく気楽に」を念頭において参加しやすいものにしたい。先輩経営者からも学ぶ会にしたい。レクリエーションと取り入れる。

● マスター会(7/3) …みんなが主役になれる会づくりを行う。勉強よりも気楽な会にする。

【3】理事会(6/12)

16研の協賛金に対して、ずいぶんと意見が出ました。大田支部として、大田から出ている鈴木実行委員長を応援していかなければいけない。

“ご参加下さい”

● 8月例会「今年も来ましたこの季節。

恒例! 楽しい納涼会!!」

【春日野部屋力士とちゃんこ鍋を囲みながら角界の裏話を聞く夕べ】

日時: 8月21日 19:00~19:45 春日野親方の講和
19:45~21:30 懇親会

場所: 割烹『吉葉』 両国 墨田区横綱2-14-5-2F

TEL: 03-3623-4480 担当: 親睦部会

参加費: 1万円 ※飲み放題 人数: 70~100名

〈第4回〉支部7月役員会

開催日: 7/23(月) 会場: PIO

16研NEWS [10年後の東京と経営を考える会 第16回経営研究集会 共催：立正大学]

実行委員長よりご挨拶

2007年、東京中小企業家同友会は創立50周年を迎えました。節目に開催される16研は、これからの50年100年の礎となるべき事を胆に銘じ、全力を挙げて取り組んでいこうと考えております。現在、日本の経済は、戦後最長の好景気の中にあると言われております。しかし、景気が良いと思っている中小企業は、極稀というのが現状です。さらに今後将来の経営環境を思うと、少子高齢化に伴う人材不足や市場の縮小、事業継承、教育問題、大企業との賃金格差、東京への一極集中、また、自然環境問題にいたるまで、不安材料を挙げたら、枚挙に暇がありません。

16研では、それぞれの問題が、10年後

我々の経営環境にどういう影響を与えるのかを、いろいろな角度から探って行きます。10年後、東京という街の中で、人間として、本当の豊かさを持った生活が出来るようになるため、今、すべきことを、少しでも多くの方に気づいてもらいたいと思います。そのために、産、学、公、それぞれの立場からいろいろな情報を集め、提供します。そして、さらに何十年か経たときに、振り返ってみると、あの時あの研究集会で学んだ事が、今の自分がある為のターニングポイントとなったと言われるような、研究集会にしたいと思います。

実行委員長 鈴木善彦(大田支部)

協賛金 運営方式に ついて

産学公と地域を連携した「経営研究集会」は、今後の東京同友会活動の大きな柱となることと思います。広く学生や社会人、地域のみなさまに参加を広げるためには入場料や参加費をいただくことをなくすことができないかという課題に、実行委員会は「協賛金方式」の運営を決定しました。共催の「学」である立正大学経営学部も会場設備の提供いただき、「公」である行政からも支援をいただきます。「産」である我々の同友会も「協賛」することが期待されています。ご理解ご協力を何卒お願いいたします。

協賛金：一口1万円より

※パンフレット等へお名前を掲載させていただきますので、広告宣伝費として計上ができます。

開催要項

日時●10月28日(日) 13:00～

場所●立正大学 五反田キャンパス
品川区大崎4-2-16
五反田駅から徒歩7分

全体会●13:00～

演劇「東京の選択」(課題)

会員の作・演出による上演です。

10年後を舞台に、60歳になる中小企業の社長が主人公。彼らの目に映る東京の姿を通して、いま我々がすべきことを考えます。

※6月1日出演者オーディション開催!

分科会●14:30～

現在14分科会開催予定

立正大学とのコラボ企画、経営労働委員会、障害者委員会、荒川支部、台東支部、三多摩支部、環境問題研究会、教育委員会、政策部、葛飾支部、青年部、実行委員会の交流企画がエントリー

※ジョイントして下さる

支部・委員会募集中です!

懇親会●18:30～

立正大学キャンパス内にて、アジア各国との食文化交流、ビジネス交流、楽しいイベントも

※アジア各国大使館に協力要請中です!

目次

- 1面 ● 総会報告
2007年度 活動方針
- 2面 ● 6月例会報告
経営基礎研究会に参加して
- 3面 ● 組織変更/部会紹介
- 4面 ● 5月例会報告
- 5面 ● あなたのお仕事教えて!
(第3回)役員会議事録
- 6面 ● 16研NEWS
広報委員の紹介

今号の担当編集委員

蛇川良太郎@クレーン作業なら丸良興業
河津文三@イエ〜!! ホワイトホームズ
柳沢明子@企業広報サポートのバース
安藤俊也@地域密着まどり君の賃貸情報
井上健太郎@アルミのこなら井上製作所

広報委員の紹介

広報委員会 担当副支部長 河津文三

皆様こんにちは!

組織編成により広報委員会は広報委員長蛇川良太郎さんのもと、大田のPFドラッカー株式会社共栄物流サービスの森川伸也専務と既存メンバーの南青山に事務所を移転し、ますますおしゃれな有限会社バースの柳沢明子代表取締役・飲むと危険な株式会社旭屋の瀬戸秀教常務取締役・冷静な判断と広報委員No.1の知能指数2000株式会社オープラスメディアの馬場雅敬代表取締役いずれは大田の同友を動画で提供するかも?・いつも会の終りに現れる不思議な存在、株式会社井上製作所の井

上健太郎専務取締役口癖は「最近ではメタボリックで〜といいながら夜中のラーメン」そしてなんととっても広報委員の中で最も危険な男、有限会社まどり君の賃貸情報の安藤俊也取締役統括店長、自分の会社名をいまいち気に入っていないとか?・新婚にもかかわらず家に帰らない仕事大好き人間と総勢8名でこれからの同友会大田支部の広報として一人でも多くの方に大田支部の活動と会員同士を大田の同友を通して知って頂くことを目標に頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

